

ellipse

[エリプス]

TOPICS

特別寄稿 国際日本学シンポジウム

「発見!お茶の水女子大学の広開土王碑拓本」

講演会「共に生きる～地球のステージ」

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

男女共同参画促進事業のご報告
文京区「女性のためのパソコン教室
～スキルアップで仕事に強くなる～」

講師派遣事業のご報告
桜蔭会山形支部講演会
夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

特別寄稿 国際日本学シンポジウム 「発見! お茶の水女子大学の広開土王碑拓本」

古瀬 奈津子 (お茶の水女子大学教授)

【講師】 武田幸男氏 (東京大学名誉教授)、徐建新氏 (中国社会科学院世界歴史研究所教授)、
早乙女雅博氏 (東京大学教授)、奥田環氏 (お茶の水女子大学非常勤講師)

【日時】 2012年7月7日 13:00～17:30

【場所】 お茶の水女子大学 本館 306室

【主催】 お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター

お茶の水女子大学では、1999年以降、毎年7月の第一土曜・日曜に「国際日本学シンポジウム」を開催してきました。2004年に比較日本学研究センター(現在の比較日本学教育研究センター)が設立されてからは、センターが主催しています。国際日本学は、国際的視野の中で日本研究を進め、総合学としての日本学を世界に発信することを目的としており、シンポジウムには毎年海外の日本学研究者に参加していただいています。

今年の国際日本学シンポジウム第一日目は、本学で所在が確認された「広開土王碑拓本」をテーマに行われました。「広開土王碑」は、高等学校の日本史教科書にも世界史教科書にも載っており、よく知られた存在ですが、その拓本がお茶の水女子大学にもあることをみなさんはご存じでしたか。

広開土王碑とは

広開土王(好太王)は、中国東北部から朝鮮半島北部にかけて存在した高句麗の最盛期の王で、391年から412年に在位しました。今年は広開土王没後1600年に当たります。広開土王碑は、没後に息子の長寿王によって建立されたもので、現在は中国吉林省集安市にあります。高さ約6.4m、凝灰岩で造られた不整形の方柱で、四面に約1800文字が刻まれています。碑文には広開土王の事績などが記されていて高句麗史の重要な史料ですが、4世紀に倭が高句麗と戦ったことが記されているため、4世紀の日本の歴史を考える上でも貴重な史料となっています。

広開土王碑拓本について

広開土王碑は1880年頃発見され、原碑調査が困難であったこともあり、拓本の解読が日中韓の研究者らによって進められてきました。拓本は、拓本を手書きで写した「墨水廓填本」、



石灰で崩れた字画を整えて拓出した「石灰拓本」、なにも加工をほどこさずに拓本をとった「原石拓本」の3種類に分類できます。史的には「原石拓本」がもっとも重要なのですが、碑面が風化しており、文字を解読するのは大変困難です。

日本に最初にもたらされた拓本は陸軍軍人酒匂景信さかわけあきによる「墨水廓填本」でした。その後、現地で「石灰拓本」が1890年代から1930年代にかけて盛んに作られ、日本にも多くの拓本が将来されました。背景としては、近代日本の朝鮮半島進出を正当化するために、碑文の記事が注目されたことが指摘されています。

戦後、広開土王碑文が日本の陸軍参謀本部によって石灰で改竄されたとする説が出されましたが、その後、「原石拓本」の研究が進み、「原石拓本」と「石灰拓本」の文字が一致することから現在では否定されています。

お茶の水女子大学本について

お茶の水女子大学の広開土王碑拓本は、前身の東京女子高等師範学校が、1923年の関東大震災後に購入もしくは寄贈によって入手したものと考えられます。1932年、東京女子高等師範学校がお茶の水から現在の大塚に移転した後、大学本館に

あった歴史国語標本室に保管されていたと思われ、1972年に文教育学部本館（現在の文教育学部1号館）が造られた際に、史学科研究室に移されました。史学科の青木和夫先生（1926－2009、日本古代史、本学名誉教授）定年後に博物館学資料室に移管され、2009年頃より歴史資料館が保管してきました。

お茶大本の拓本は四面そろった完全な形で発見され、表装されておらず、各面は縦532－546cm、横101－182cmの大きさで、一辺53cmほどの正方形の「宣紙」という中国製の紙を貼り継いで作られています。

2012年3月26日に、広開土王碑拓本研究の第一人者である武田幸男氏（朝鮮古代史）、3月24日には中国側の研究者である徐建新氏（日本古代史）に調査いただきました。その結果、お茶大本は「石灰拓本」であり、武田幸男氏が分類する「C2型」に該当し、梶本益一本（九州大学図書館蔵）や内藤確介本（東京都目黒区めぐろ歴史資料館蔵）と類似していて、1920年代に拓出されたものと考えられています。

シンポジウムの成果

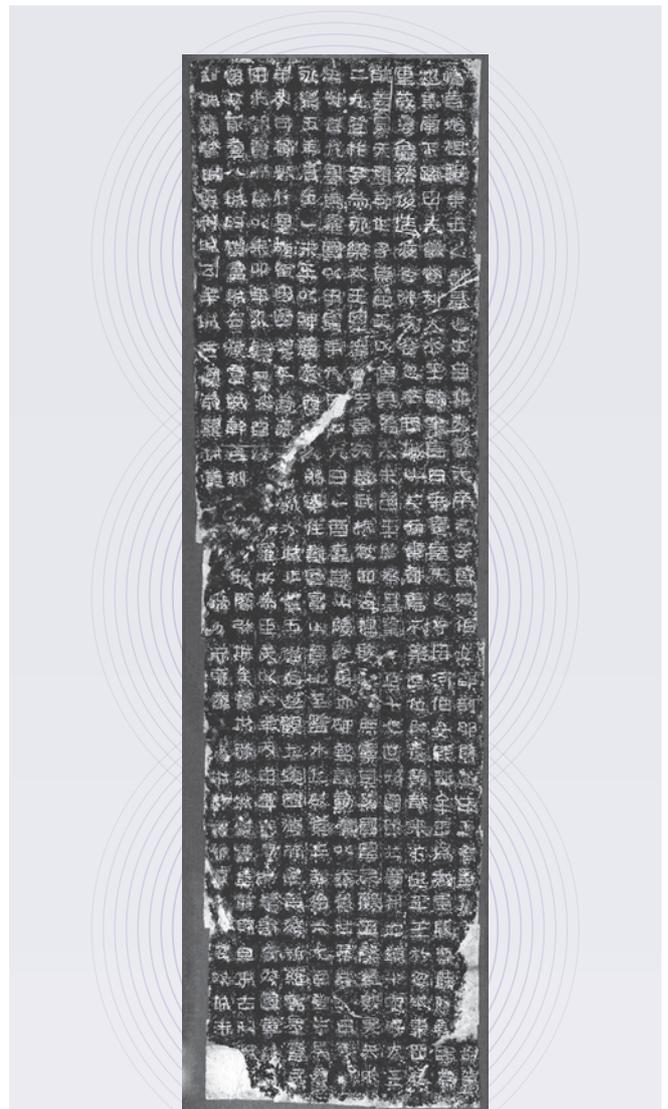
お茶大本の発見を記念して、国際日本学シンポジウムを開催しました。武田幸男氏は「広開土王碑の真意を求めて」の講演の中で、倭が登場する辛卯年（391年）条の記事は広開土王が百済を討伐するための前置き文であるとし、お茶大本について着墨パターンから拓出の年代を判定する方法により、1920年代のものであるとの説を披露されました。

ついで、徐建新氏が「広開土王碑拓本研究とお茶の水女子大学本の年代」という講演をされ、広開土王碑の発見と早期拓本（原石拓本）の制作に係わる李超瓊^{りちょうけい}という中国・清の地方官吏の日記『遼左日記』を紹介されました。これは貴重な新史料の紹介です。

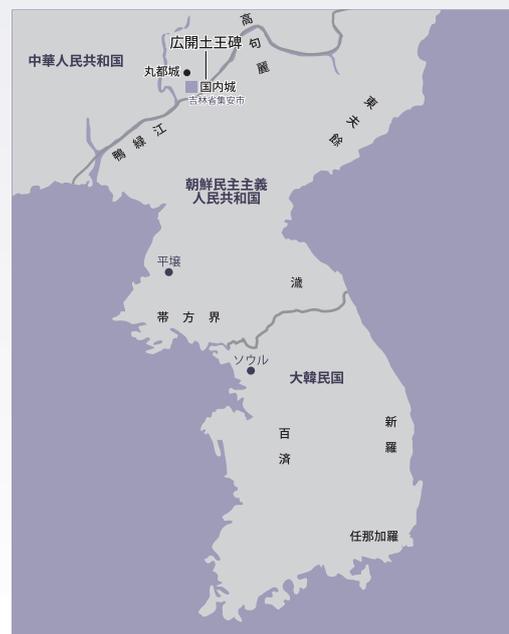
また、徐氏は、お茶大本について、碑字字形比較法により1920年代の拓本であるという説を述べられました。

朝鮮考古学がご専門の早乙女雅博氏は「製作技法からみたお茶の水女子大学拓本の年代」の中で、拓本の用紙の大きさが年代によって異なることを指摘し、小拓紙貼り継ぎ法によると、お茶大本は1920年代後半のものであるとの説を紹介されました。

博物館学を専門とされている奥田環氏は、「東京女子高等師範学校の学術標本一教材としての広開土王碑拓本の背景一」の中で、史学科卒業生へのインタビューから、お茶大本は1939年の東京女子高等師範学校の大陸視察旅行（修学旅行）の際に、引率教員の飯本信之（1895-1989、地理、本学初の名誉教授）が中国で購入したという新説を紹介されました。



▲お茶の水女子大学本「広開土王碑拓本」第1面



最後に、昨年やはり広開土王碑拓本の第三面が発見された山形大学の三上喜孝氏（日本古代史）を司会としてパネルディスカッションが行われました。武田氏・徐氏・早乙女氏それぞれの年代決定法によってお茶大本の拓出年代が 1920 年代であるという同一の結論が導き出されました。広開土王碑拓本を通じて近代日本の対外政策や歴史教育にまで話がおよび、シンポジウムは大きな成果をあげて幕を閉じました。シンポジウムの成果は本としてまとめて刊行される予定です（同成社から 2013 年春刊行予定）。

なお、当日、歴史資料館により、拓本の第一面が本館 103 室で特別展示され、100 人をこえる入場者がありました。拓本の写真はお茶大デジタルアーカイブス (http://archives.cf.ocha.ac.jp/shiryo_takuhon.html) でも閲覧できます。

【追記】

お茶大本の入手経路や使用状況についてはまだわからないことが多くあります。お茶の水女子大学の卒業生の方たちの中で、この拓本を在学中に授業などでご覧になったことがある方

がいらっしゃいましたら、是非ともご一報ください。

連絡先：東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学文教育学部比較歴史学コース

古瀬 奈津子

TEL：03-5978-5175（比較歴史助手室）

E-mail：furuse.natsuko@ocha.ac.jp

〈写真提供〉お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター

〈資料提供〉お茶の水女子大学

古瀬 奈津子（ふるせ なつこ）プロフィール

日本古代史専攻の歴史研究者。

1983 年、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）単位取得退学。国立歴史民俗博物館等を経て、現在、お茶の水女子大学大学院教授。博士（文学）。

主要著書：『日本古代王権と儀式』（吉川弘文館、1998 年）、『遣唐使の見た中国』（歴史文化ライブラリー、吉川弘文館、2003 年）、『シリーズ日本古代史⑥ 摂関政治』（岩波新書、岩波書店、2011 年）



男女共同参画促進事業のご報告

文京区「女性のためのパソコン教室
～ スキルアップで仕事に強くなる～」

- 【日時】 《基礎コース》6月18日(月)・19日(火) 13:30～16:30
《応用コース》6月25日(月)・26日(火) 13:30～16:30
- 【会場】 文京区教育センター（文京区春日 1-9-21）
- 【講師】 西村文恵氏（株式会社ハッピーコム）
- 【主催】 文京区男女協働・子ども家庭支援センター担当課
男女協働担当、お茶の水学術事業会
- 【受講料】 1,500 円（テキスト代を含む）
- 【参加】 《基礎》19 名（欠席 1 名）、《応用》17 名（欠席 3 名）

今年度も男女共同参画週間（6 月 23 日～29 日）に合わせ、文京区と共催でパソコン教室を実施しました。

5 回目となる今回は、《基礎コース》《応用コース》（各 2 日間）の 2 コースを設け、《応用コース》には、新たに PowerPoint によるプレゼンテーション資料作成の講習を取り入れました。

実施後に行ったアンケートでは、講習内容・教え方ともに概ね好評で、PowerPoint については「アニメーションが楽しかった」「手つかずの仕事の発表にやる気が出た」との声が寄せられました。



◆ 主な講習内容

基礎	1	【Word】基本操作と案内状の作成
	2	【Excel (2007)】基本操作と請求書の作成
応用	1	【Excel (2007)】名簿の作成とデータベース機能 【Word と Excel の応用】差し込み印刷
	2	【PowerPoint】基本操作とプレゼンテーション資料作成

また、《基礎コース》では 50 歳代、《応用コース》では 30 歳代の参加がもっとも多く、世代によって必要としているパソコン技術に違いがあることもうかがわれました。今後さらに受講者のニーズにあった講習となるよう、工夫をしていきたいと思ひます。

講師派遣事業のご報告

桜蔭会山形支部講演会

「宮沢賢治 東北から世界へのメッセージ」

—世界がぜんたい幸福にならないうちは 個人の幸福はあり得ない—

【講師】 大塚常樹氏（お茶の水女子大学大学院教授）

【日時】 2012年6月30日（土）13:30～15:30

【会場】 遊学館（山形県生涯学習センター）第一研修室

【参加】 90名（資料代：300円）

大塚先生は宮沢賢治と山形との関わりから話しを起こされました。岩手県から隣県の山形県へ移動するにも夜行列車を利用したように、距離感が現代とは全く異なっていた時代にあつて、東北を起点に、当時の文化の集約地であつた東京をはるかに飛び越えて、ヨーロッパ、アメリカ大陸を視野に入れたグローバルな視点を賢治が持っていたことを先ず指摘されました。

そして彼の作品に込められた様々なメッセージを抽出して下さいました。たとえば賢治の眼は、シロツメクサ、ゲンノショウコなどの小さな花一つ一つの特徴、構造といった微細な部分に注がれると同時に、これを見下ろす天上世界へと転じ、めいめいの星がそれぞれの明るさを持って光っている銀河系、宇宙全体に向けられます。つまり、地上と天上が等価値に置かれるのだそうです。それは、一人一人の人間（動物も、植物も）が個性を発揮しつつ、それでいて共同体としての秩序が保たれ、互いに助け合う世界、すなわち個人の幸福と世界の幸福の両立を願った彼の理想社会像を象徴するものであつたといえます。

賢治はまた科学者であり、科学技術によって貧困に苦しむ農民の救済を模索していました。飛行船で空中に網をかけ、潮汐

▼大塚常樹氏



発電で得た電気を雲に放電し、窒素肥料を合成して雨とともに撒布する、あるいは火山島を爆破して二酸化炭素を放出させ、温室効果を生んでイーハトーブの冷害を克服するという夢の技術を『ガスコーブドリの伝記』に描きました。

さらに彼は、科学と宗教を結びつけようと考えていたそうです。熱心な仏教徒として法華経を信仰するのみならず、『銀河鉄道の夜』

ではキリスト教への関心がうかがえるように、作品には多様な宗教的世界観が展開されているとのことです。

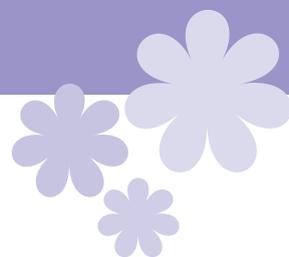
大塚先生は、アッシジ（イタリア）の聖者フランチェスコと共通する思想が読み取れる点を強調されました。かくして賢治は宗教、科学、芸術の一致を目指していたのであるとの、総合的にして、幅広い視点からのお話でした。

参加者は熱心に耳を傾け、講演会終了後のアンケートには「新しい発見があつた」、「理解できなかった部分が解消した」、「賢治の作品をもっと読んでみたい」などと感想を記して下さいました。

当日は、支部会員の一人である吉村美栄子知事もご多忙中を来場され、挨拶して下さいました。少人数の支部ではありますが、会員の力を結集し、①ささやかながらも地域文化の向上に寄与したい、②母校の広報の一助としたいとの開催目的を十二分に達成することができたと思います。

（桜蔭会山形支部 板垣邦子氏より）

▲講演に先立ち挨拶をする吉村美栄子
山形県知事（昭和49年文教育学部卒）



お茶の水女子大学 イベント情報

2012年10月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2012年10月1日(月) ～12月27日(木)	第21回附属図書館企画展示 「ヒロイン百花繚乱」	無料	【主催】お茶の水女子大学附属図書館 【会場】附属図書館1階キャリアカフェ横 【詳細】附属図書館のHP「企画展示」をご覧ください。 http://www.lib.ocha.ac.jp/tenji/tenji_top.html 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp
2012年10月9日(火) ～19日(金) 12:30～16:30 ※ギャラリートーク・本館 見どころツアー 10月14日(日)14:00～ 17日(水)14:00～	歴史資料館企画展示 「東京と奈良 東西の女高師の交流」 東京女子高等師範学校と奈良女子高等師範学校の交流の歴史を、主に写真パネルで紹介しします。普段は公開していない書画・美術工芸品などの貴重資料も展示します。	無料	【主催】お茶の水女子大学大学歴史資料館 【会場】お茶の水女子大学歴史資料館(大学本館1F) 【詳細】歴史資料館のHPをご覧ください。 http://archives.cf.ocha.ac.jp/info_kikaku_2012.html ※「ギャラリートーク・本館見どころツアー」 集合場所: 歴史資料館2(136号室)(申込不要) 【お問合せ】お茶の水女子大学図書・情報チーム情報基盤係 E-mail: shiryo@cc.ocha.ac.jp
2012年10月31日(水) 12:30～12:50 2012年11月30日(金) 12:30～12:50 2012年12月21日(金) 12:30～13:00	図書館ミニコンサート & クリスマスコンサート 演奏者: 音楽表現(学)コース学生 ベヒシュタイン社製ピアノのコンサートです。	無料	【会場】附属図書館1階ラウンジ 【詳細】附属図書館のHP「コンサート情報」をご覧ください。 http://www.lib.ocha.ac.jp/concert.html 【お問合せ】E-mail: library@cc.ocha.ac.jp ※お申込みは不要です。
2013年1月22日(火) 16:45～19:00	A-WiL 国際シンポジウム 「お茶大におけるリーダーシップ養成教育の伝統と今後の展開」(仮) お茶の水女子大学のリーダー教育の伝統と目指すべき方向性について、「グローバルに活躍するリーダー」「女性のリーダーシップが日本を変える」という観点から有識者をまじえて討議します。	無料	【主催】お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター 【会場】徹首堂(お茶の水女子大学講堂)(予定) 【お問合せ・お申込み】 お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp

「お茶の水女子大学 E-Book サービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>

オープンアクセスリポジトリシステムにより、お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料で発信しています。お茶の水女子大学の教職員や学生による書き下ろしの著作を E-book (電子書籍) として無料で PDF 閲覧またはダウンロードできます。

◆ 既刊図書のご紹介

『近世日本の儒教思想—山崎闇斎学派を中心として』(2012年3月)

高島元洋、大久保紀子、長野美香

『古今和歌六帖全注釈第一帖』(2012年3月) 古今和歌六帖輪読会(代表:平野由紀子)

オンデマンド出版による簡易製本版の販売も行っています。購入をご希望の場合には、「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book ご注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>) よりご注文ください。(お申込みから納品まで1か月程度かかります。)

※「お茶の水女子大学 E-Book サービス」は、お茶の水女子大学とお茶の水学術事業会が連携して実施しています。



共催講演会のご案内

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

「インドにおける仏教寺院の諸相」

- 講師 秋山 光文 氏 (お茶の水女子大学大学院教授 (哲学・倫理学・美術史コース美学美術史専攻))
- 主催 お茶の水地理学会
- 共催 お茶の水学術事業会
- 日時 2012年12月1日(土) 14:00～16:00 (参加費:無料)
- 会場 お茶の水女子大学共通2号館102 (文京区大塚2-1-1)
- 申し込み方法 はがき・FAX・Eメール
- * 住所・氏名・電話番号・卒業生の方は卒業学科を記入して下記までお送りください。保育を希望される方はその旨も必ずお書き下さい。
- 締め切り 2012年10月31日(消印有効)
- * 定員を超えた場合は抽選とし、はがきで可否を連絡いたします。
- お問合せ・お申込み先
お茶の水地理学会事務局
〒112-8790 文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 文教育学部 地理学教室
FAX: 03-5978-5185 Email: chirilog@yahoo.co.jp



「本当にイクメンは育っているのか」

～多様化する現代社会の中で、その実態や育てる方法について～

- 講師 石井クツツ昌子氏 (お茶の水女子大学大学院教授(家族社会学))
- 主催 公益財団法人 あいち男女共同参画財団
- 共催 お茶の水学術事業会
- 日時 2013年3月9日(土) 14:00～(参加費:無料)
- 会場 ウィルあいち(愛知県女性総合センター) セミナールーム1・2
- 申し込み方法 財団HPから申し込みができます。または、往復はがき、FAX、Eメールで、下記申込先までご連絡ください。

(記入内容)

- ① セミナー名 ② 住所 ③ 氏名 ④ 年齢 ⑤ 性別
- ⑥ 電話番号 ⑦ FAX 番号 ⑧ 職業
- ⑨ 託児をご希望の方は、《お子さんの名前・ふりがな・年齢・性別》
- 締め切り 2013年2月22日(金)
- お問合せ・お申込み先

公益財団法人 あいち男女共同参画財団 企画協働課
〒461-0016 名古屋市中区上区下区1番地
TEL: 052-962-2512 FAX: 052-962-2477
URL: <http://www.will.pref.aichi.jp/zaidan/>
Email: kikaku@will.pref.aichi.jp



平成24年度 お茶の水女子大学附属中学校研究協議会のご案内

テーマ 「探究する楽しさ」が駆動する学びの創造

- 主催 お茶の水女子大学附属中学校
- 期日 2012年11月2日(金) (受付8:30～)
- 会場 お茶の水女子大学附属中学校 (〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1)
- プログラム
 1. 全体会(基調提案)
 2. 公開授業I・II(全教科予定)
 3. 授業の振り返り
 4. 講演会
「生徒の学びと学びあい、生徒の学びを支援する教員の学びと学びあい」
三輪 建二氏(お茶の水女子大学教授)
- 参加費 資料代 2,000円(予定)
- お問い合わせ・お申込み
お茶の水女子大学附属中学校
TEL: 03-5978-5865
<http://www.ft.ocha.ac.jp/top/>

お茶の水女子大学
第63回 微音祭
～百茶繚乱～
2012年11月10日(土)、11日(日)開催

今年度微音祭のテーマは、「百茶繚乱」。
参加団体の一つひとつ、一人ひとりが個性ある魅力を発揮し、
それぞれが最高の微音祭をつくりあげます。
どうぞ、微音祭での素敵なひとときをお過ごしください。
皆様のお越しを、一同心よりお待ちしております。

みどころその1：家族みんなで楽しめる！

微音祭では、毎年恒例の「水コン」、シンポジウム、豪華ゲストによるトークショーをはじめ、スタンプラリーや緑日、指圧など、老若男女を問わず楽しんでいただける企画をご用意しております！
お気軽にお越しください！

みどころその2：充実した受験生応援企画！

今年も受験生応援企画として、受験生相談室、キャンパスツアー、模擬授業をご用意！「先輩たちの受験対策は？」「キャンパスライフってどんな感じ？」「お茶大の授業を受けてみたい！」などなど、受験生の悩みや疑問、要望に現役お茶大生がおこたえいたします。この機会をお見逃しなく！

みどころその3：バラエティに富む参加団体！

今年も多く参加団体が、模擬店の出店やステージ発表、展示など、多種多様な催し物をご用意。お時間の許す限り、ごゆっくりお楽しみください！
「参加団体コンテスト」も同時開催！
お気に入りの団体に、清き一票をお願いします！

詳しい情報は、微音祭2012公式webサイトをCHECK!
<http://kiinsai.org/>

第75回教育実践指導研究会のご案内

研究テーマ 交響して学ぶ子を育てる
～異質性が行き交うシティズンシップ教育～

- 主催 お茶の水女子大学附属小学校
NPO 法人お茶の水児童教育研究会
- 後援 お茶の水女子大学 学校教育研究部
- 期日 2013年2月21日(木)・22日(金)
- 会場 お茶の水女子大学附属小学校
- 日程と内容

両日午前 全学習分野の学習公開と授業後の話し合い
(ことば / 市民 / 算数 / 自然 / 音楽 / アート / からだ / 生活文化)

▼21日

受付	学習指導 I	学習指導 II	の話し合い	学習指導 II	昼食	全体発表	課題別部会	講演
9:00	10:00	11:00	13:00	14:50	16:00			

午後 全体発表 課題別研究部会(シティズンシップ教育コミュニケーション、教師の力量形成、小学校入門期、食育) 講演 工藤直子先生(詩人)

▼22日

受付	学習指導 I	学習指導 II	の話し合い	学習指導 II	昼食	部会	学習分野別	講演
9:00	10:00	11:00	13:00	14:50	16:10			

午後 学習分野別部会 講演 内田伸子先生(お茶の水女子大学名誉教授)

- お問い合わせ
お茶の水女子大学附属小学校 TEL: 03-5978-5875 FAX: 03-5978-5872
- 申込み
当日またはHP (<http://www.fs.ocha.ac.jp/>)にて10月下旬より

講演会レポート

「共に生きる～地球のステージ」



- 【日時】 2012年7月18日(水) 15:00～16:45
- 【場所】 お茶の水女子大学 微音堂
- 【講師】 桑山紀彦氏(NPO法人「地球のステージ」代表理事)
- 【主催】 お茶の水女子大学グローバル協力センター

お茶の水女子大学グローバル協力センターでは、2010年から「グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成」をテーマに、世界の困難な地域における女性や子どもの支援の研究と実践を行っています。(図)

その一環として開催された公開イベント「共に生きる～地球のステージ」の様子をご紹介します。

このイベントは「共に生きる」社会の実現に向けて私たちにできる国際協力とは何かを考えることを目的として開催されたもので、学内外から150名ほどの参加がありました。

「地球のステージ」とは、「紛争、災害、貧困の地の子どもたちに音楽と映像で近づこう」というコンサート形式のステージで、桑山氏が案内役となり、世界で起きている様々な出来事とそこに生きる人々の姿を、大画面のビデオ、スライドに映しだしながら、語りとオリジナルの音楽を通して伝えていきます。1996年1月15日にスタートして以来、全国の小・中・高等学校を中心に年間220回ほど開催され、間もなく3000回を迎えるということです。



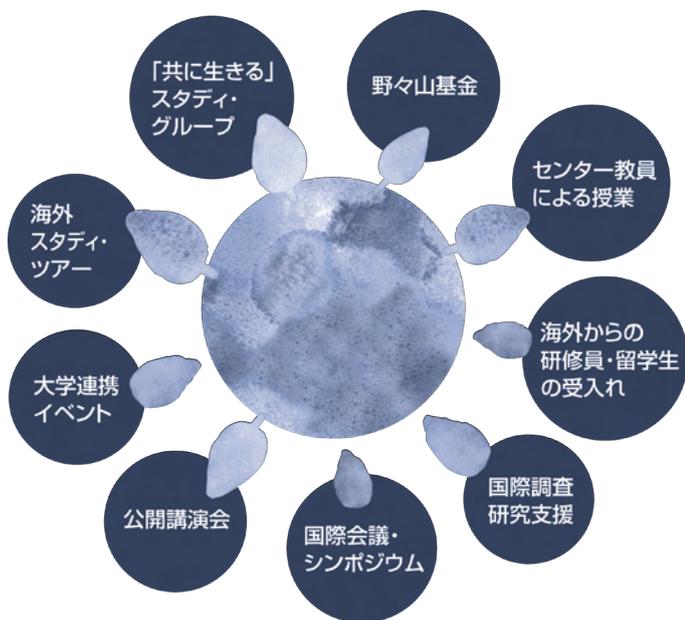
▲桑山紀彦氏

【講師プロフィール】精神科医、医学博士、日本で医師として診療を行う一方、パレスチナや東ティモールなど57か国を歩き国際医療支援活動を展開。現在はNPO法人「地球のステージ」の代表理事として、災害時の緊急医療支援や、紛争地や被災地で心に傷を負った人への心理社会的ケア(心のケア)を中心として海外支援活動を続けている。2009年11月、宮城県名取市に東北国際クリニックを開設し院長をつとめる。

さて、この日のステージは、世界の美しい自然や様々な民族の映像と「天空の窓」という曲からスタートしました。桑山氏はいろいろな国を回るなかで、「やはり神様や仏様は本当にいらっしゃるんだ」と感じることもあるそうです。神様と仏様が空にぽっかりと窓を開けて人間のすることを見ていらっしゃる、そんなイメージが「天空の窓」という曲になりました。

1. ケニア温暖化篇

舞台はケニア。温暖化が進み、雨が降らないのでヘミングウェイの小説の題名にもなったキリマンジャロの頂の万年雪はどんどん溶けて小さくなり、麓のアンボセリ国立公園に暮らす野生動物の数も減っています。そんな厳しい自然破壊の中で、古くから続いているものと新しいものをうまく組み合わせて、自分たちの村を自立に導こうと頑張っているマサイ族の若者のお話



図：グローバル協力センターの活動

しました。

彼は、自分の村に外国人観光客を受け入れることによりお金を貯め、そのお金を使って町の医療を利用して村の人々の命を守り、子どもたちのために学校を作りました。人間が幸せになるために一番大切なことは「富を分け合うこと」だと言い、23あるマサイ族の村のどこかで困ったことが起こると、自分たちの貯めたお金をその村のために惜しみなく使います。「そうやってみんなが仲良くなることによって争いを避けることができ、幸せにつながる」と考えているのです。こうして彼らは平和に、地球に優しい暮らしをしています。

このような生活を私たちが全部まねすることは難しいにしても、その考え方や一部を取り込むことはできるのではないかと桑山氏は仰います。「毎日の省エネ活動、電気をこまめに消すとか、エアコンの温度を考えると、そんなことが回りまわって地球の裏側のマサイ族の生活を支えていくことになります。やっぱり僕たちは地球という同じ船に乗った乗組員同士なんだと思います。」

2. スリランカ津波篇

2004年、スマトラ沖で起きた大きな地震は津波となって3000kmの海を越え、スリランカの島を直撃しました。

桑山氏らは、その約2か月後に南東部の海岸の仮設住居で暮らす人々のもとを訪れ、救援活動を行いました。

まずは、津波とその後の大変な生活で重くなってしまっている人々の心のケアです。大人には、職業訓練・作業療法として、手工芸のベルギーレース編みを教えました。こういうものに取り組みとあつという間に一日が過ぎるし、手を動かしながら周りの人との会話も弾み、作品が完成した喜びを味わうこともできます。一方、子どもたちに対しては、絵を描いたり、粘土を作ったり、演劇に取り組んだりしながら、心の中にたまってしまったものを外に向かって吐き出せるようにしていきました。

そして、こうしたケアが現地の人たちによって続けていけるよう、やる気のある人々を集めて2日間の授業を行いました。最終日には「ぼくたち外国人はもう居なくなります。これからは皆さんが主人公です。皆さんが辛い思いをした人たちの気持ちに近寄ってあげてください」と言って、修了証を渡します。実はここがとても重要なポイントで、ボランティアは幸運にも現地に入ることができたら、精いっぱいのことをすると同時に、常に自分たちが居なくなる日のことを考えながら活動する必要があるとのことでした。

また、仲良くなったスリランカのある少女から勉強をするために辞書を買って欲しいと頼まれ、個人的に買ってあげたい気持ちとボランティアとしての公平さのほざまで悩んだ日本人大学生のエピソードも紹介してくださいました。ボランティアは、



本当にこれでいいのか、これで正しいのか、悩みながら、迷いながら活動することも大切なのだそうです。

3. 国って何？ 東ティモール篇

1999年8月30日に国民投票で独立を決めたものの、そのわずか5日後、独立に反対する人たちに焼き討ちされた東ティモール。桑山氏は2000年から現地に通い、テトゥン語を覚え、ハトリア郡の村々を回って病気を減らすための活動をしたり、パイロピテ診療所のお手伝いをしたりしています。世界から忘れ去られたようになりながらも少しずつ復興していく東ティモールの姿を見つめ、現地の人々とともに働く中で、独立した国を支えているのは、「自分の頭で考えて行動する力をもっている人」と「変わらないで同じ仕事をコツコツやっていける人」ではないかと感じたそうです。

後者の代表はパイロピテ診療所の院長ダン先生。アメリカ人でありながら、14年前から東ティモールに住んで、年360日以上病院に通い、夜中に呼ばれても嫌な顔一つせず、黙々と仕事をこなしています。その姿は現地の少年たちの目にはとてもかっこよく映りました。

ふつう東ティモールの少年に将来の夢を尋ねると、タクシーの運転手か警察官のどちらかの答えしか返ってきません。それが身近で見ることができ、ちゃんと働いている大人の姿だからです。けれども、ダン先生が毎日自分の家の前を歩いて病院に通う姿を見ていた少年たちは、将来、ダン先生と同じ医者になりたいと答えたのだそうです。

東ティモールに通いながら「ここ、国になってからの方が悪くなっていないか?」と感じることもあるそうです。「いつか子どもの夢の数が2つばかりじゃなくて、星の数ほどになったら、この国が国になった意味があるんだろうなと思います。」という桑山氏の言葉が印象的でした。

4. 自己改革篇

～自分を変えるきっかけをどうつかむか

意外にも高校時代の桑山氏は、自分のことが大嫌いで、とにかく自分から逃げていたといいます。コンプレックスと自己嫌悪で押しつぶされそうになり、自転車で乗って甲府の町を目指したのは高校2年生の春休み。この世のものとは思えない富士山に出会い、「私はいつでもここで君を待っているぞ」と言われた気がしました。

そして大学1年の夏、自転車による日本一周に挑戦します。この賭けに敗れたら自分はもう終わりだとまで思い詰めていましたが、2年間かけて日本中のいろいろな道を走り、たくさんの人たちと出会う中で、いくつもの大切なことに気づいていきました。人が苦手だと思っていた自分が人の写真をたくさん撮っていること。その写真の中で人の間に挟まって笑っている自分。そして家族の愛情。

さらにある日、「むちゃくちゃ大事なこと」に気づきます。それは、この日本の中にある登り坂と下り坂は、まったく数が同じだということ。苦労して登ったら、ご褒美で同じ数だけ下り坂が用意されている。だからやがて来る下り坂を信じて、今日の前にたちふさがっているこの登り坂という困難に立ち向かっていこうと、勇気が持てたのだそうです。

だから、桑山氏は全国を回りながら子どもたちに願います。「まずは、自分の自転車のペダルをこいで峠をこえてみてほしい」と。そうやって、道と人に大切なものを教えてもらい、その先にもっと世界を知りたくなったなら、その時にパスポートを取っても遅くはないのです。

5. 震災篇

～2011年3月11日 東日本大震災

宮城県名取市で被災された立場から、2011年3月11日に津波が奪ったものの大きさと現在の様子について話してくださいました。

当時、沿岸にあった5つの病院の中で唯一津波の難を逃れた桑山氏の東北国際クリニックは、翌日から2か月間、毎日24時間体制で診療にあたりました。それが生き残ったものの果たす役割だという思いからでした。けれども、町がゴースタウンと化し、ガソリンも救援物資も足りない状況の中で、なんとか踏ん張ることができたのは、国際協力の仲間が一緒だったからこそだと仰います。「なぜ国際協力が素晴らしいのか。それは見て見ぬふりをしない人たちの固まりだから。だから国際協力って仕事とかそういうものじゃなくて、人の生き様なんだと思います。」

さて、桑山氏は現在も、子どもたちの心のケアに取り組んで



います。サッカー大会、ジオラマ3部作（自分たちの暮らしていた町・あの日見た光景・自分が住みたい未来の町）の制作、そして今年の4～5月には、津波で壊滅してしまった高等学校のがれきを使って楽器「ガレッキ」を制作し、津波と復興のオリジナル曲を作り発表会をしました。さらに今は映画を制作しています。他人を演ずることによって自分が体験したもの以上のものを表現していく、そこまで高めて心のケアも終わりになっていくのだそうです。

今年の3月11日には津波で亡くなった関東中学校の生徒14人の慰霊碑を建てることができました。その日の天気予報は雪でしたが、遺族会代表の丹野さんが挨拶をしたとき、厚い雲がみるみる晴れて青空が広がっていきました。天国に昇っていった子どもたちが空に窓を開けてこっちを見ている。「お父さん、お母さん、慰霊碑をありがとうね。いつも僕らは空から見ているから。」そんな声が聴こえた瞬間でした。気がつけば、どこにも知らせていなかったのに、400人を超える参列者の列ができていました。

震災から2年目に入り、被災地の人々は津波で多くのものを失った一方で、仲間とのつながりや人の絆の大切さ、優しさなど得たものもあることにも気づいています。だからこそ、忘れられていくことを嘆いたり非難したりするのではなく、被災地が今、何を思い、何を作ろうとしているのか、それをきちんと発信していくことが大切なのだと言います。桑山氏は仰います。「そうすれば受け止めてもらえるはずなのです。」

※

美しい映像と音楽、そして物語を読み聞かせるような語り、ずっと心に沁みこんで、「共に生きる」ことの意味を改めて考えさせられたひと時でした。

〈写真提供〉NPO法人「地球のステージ」、お茶の水女子大学グローバル協力センター

〈協力〉お茶の水女子大学グローバル協力センター

夢のつばさプロジェクトニュース

2012 年度 春キャンプ実施報告

【実施期間】 2012 年 5 月 19 日～20 日

【開催地】 岩手県遠野市・花巻市、宮城県仙台市（保護者との懇談会）

【主な内容】

5 月 19 日	〈牧場体験〉 ● 餌やり ● 乗馬 ● 蹄鉄投げゲームなど 〈キャンプ〉 ● テント張り ● カレー作り ● キャンプファイヤー
5 月 20 日	夢のつばさ♥プロジェクト／花巻青年会議所 55 周年記念事業・共催科学イベント ● 川口淳一郎氏講演会、宇宙服・はやぶさ模型等の展示（協力：JAXA） ● 子ども科学教室：ソーラーカー作り（協力：NEDO）

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちの長期支援を目的として 2011 年 4 月にスタートしました。被災 3 県（宮城、岩手、福島）の子どもたちを対象に、昨年度は東京で 2 回キャンプを実施しましたが、岩手県からは問い合わせはあるものの、交通の事情もあって参加者がありませんでした。そこで、花巻青年会議所（花巻 J C）創立 55 周年記念事業として依頼されて企画した科学イベントの共催にあわせて現地での春キャンプを行い、岩手県を中心に 49 名（小学 1 年生～中学 2 年生）の参加がありました。

当日はお天気にも恵まれ、子どもたちは学生ボランティアと一緒に、牧場で馬と触れ合ったり、テント張りや食事作りに挑戦したりし、キャンプファイヤーに歓声をあげていました。翌 20 日は川口淳一郎氏の講演を聴き、JAXA の方々が持ってきて下さった、小惑星探査機「はやぶさ」や小惑星「イトカワ」の模型、宇宙服などを見て、楽しい時間を過ごしました。NEDO の方々のご協力による、ソーラーカー作り教室やアザラシロボットのパロも人気でした。2 日間を通して、子どもたちは、楽しみながら色々な発見をし、好奇心をくすぐられた様子でした。また、学校や学年の枠を超えて打ち解け、高学年の子が積極的に低学年の子の世話をする姿も見られました。

一方、子どもたちをサポートする学生ボランティアにとっては、子どもたちの震災経験をどのように受け止めていくかということが大きな課題でした。この点については、事前にカウンセラーの講演を聞くなどして、子どもたちと一緒に遊ぶ中で、何かあれば寄り添う、丁寧に話を聞くという「受容と共感」の姿勢を心がけました。今後も多くの方々から助言をいただきながらよりよい方法を考えていきたいと思ひます。

また今回初めての試みとして、子どもがキャンプに参加している間に、本プロジェクトの室伏きみ子氏、滝澤公子氏が、カウンセラーの河野貴代美氏（元お茶の水女子大学教授）と共に、



▲馬に乗れたよ



▲みんなで清掃



▲キャンプファイヤー

宮城県の保護者を訪ねて、お話を伺いました。混乱の時期を過ぎて、身内を亡くされたり被災された方々が改めて悲しみを深くされていることを知り、子どもたちだけでなく、保護者にも心を寄せていくことの大切さが浮き彫りになりました。

春キャンプを通じて、これまでに連携のあった教育委員会や桜蔭会岩手県支部有志に加え、岩手大学や花巻 J C など、岩手県を拠点とする様々な団体や現地の方々と交流し、今後に向けての協力関係を築くことができたことは、非常に意義があったと思います。学生ボランティアたちは、今後は子どもたちと年齢が近い学生だからこそできること、東京で活動しているからこそできること、様々な大学からボランティアが集まっているからこそできることなど、「夢のつばさ♥プロジェクト」ならではの活動をブラッシュアップしていきたいと意欲を燃やしています。

♥ 2012 年度夏キャンプを実施しました。

実施期間：7 月 31 日～8 月 3 日

開催地：軽井沢プリヂストン保養所

※実施報告は次号に掲載する予定です。

夢のつばさ♥プロジェクトの活動については HP をご覧ください。

(<http://www.npo-ochanomizu.org/tsubasa/index.html>)

ご寄付のお願い

【口座】 三井住友銀行大塚支店（店番号 227）普通 1284200

【名称】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子
 ご協力いただける範囲で、ご寄付を賜りましたら幸甚です。ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせくださいませ。領収書をお送り申し上げます。

連絡先：事務担当 滝澤公子

TEL & FAX : 03-5978-5362 Email : tsubasa@npo-ochanomizu.org

お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

◆平成24年度定期総会を開催しました

【日時】：平成24年6月16日(土) 10:00～11:45

【会場】：お茶の水女子大学理学部3号館 ラウンジ

以下の審議事項について審議・承認されました。

- 第1号議案：平成23年度事業報告書
- 第2号議案：平成23年度収支決算書ならびに監査報告
- 第3号議案：平成24年度事業計画書
- 第4号議案：平成24年度収支計算書
- 第5号議案：理事の退任・新任・再任について

平成24-25年度お茶の水学術事業会役員について

定款第14条にもとづき、以下のとおり決定いたしました。

- 理事長：平野由紀子
 理事：青島朋子、櫻井和子、清宮貞雄、村重嘉文、
 室伏きみ子、一方井誠治、菅本晶夫
 監事：鹿住倫世

◆共催講演会・助成金事業の募集について

お茶の水学術事業会では、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」として、以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

参加予定人数50名以上の公開講演会に対して、講師のご紹介、謝礼金・交通費の一部助成などを行います。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業

教育関係者または団体の行う以下の活動・事業に対して助成金(事業費の2分の1以内、1件につき上限10万円)を支給します。

- (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
- (2) 学術関連等の出版事業
- (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
- (4) 国際協力研究・教育支援事業
- (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

詳細および申請方法は、お茶の水学術事業会のHP (<http://www.npo-ochanomizu.org/index.html>) をご覧ください。E-mail (info@npo-ochanomizu.org) ・TEL (03-5976-1478) によるお問合せも受け付けております。

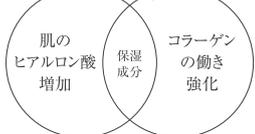
ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分cPA(シーピーイー)は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。

雅GraceはcPAを配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子(お茶の水女子大 教授) 監修

新成分
cPA
配合



売り上げの一部は、
大学へ寄附されます

雅Grace 定価(税込)

グレイス化粧水 (150ml)	6,300円
グレイス乳液 (100ml)	7,350円
グレイス美容液 (30ml)	9,450円

※写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL 03-5203-0716 WEB <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

お茶大ゴルフ 好評発売中!!



- 6袋(計12枚)入
- ばにら・ちょこ・いちご味
- 定価 600円(税込)
- 発送も承っております(送料はお客様負担となります)。

お茶の水ブックレット・お茶大ゴルフのご注文はお茶の水学術事業会事務局まで
E-mail : info@npo-ochanomizu.org TEL & FAX : 03-5976-1478

編集後記

古瀬教授がお寄せくださった「お茶の水女子大学本 広開土王碑拓本」の発見にまつわるお話。高校時代に歴史の授業で習った「広開土王碑」の貴重な資料が、完全な形で母校に保管されていたことに、感動を覚えました。

また、桑山氏の「地球のステージ」は心を洗われるようなひと時でした。コンサートの後、自分の顔がいつもより少し優しくなっているような気がしました。機会があったら、ぜひ、足を運んでみてください。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2013年2月に2500部発行予定。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ